

2006年5月24日

スバル レガシィ シリーズを改良

富士重工業は、スバル レガシィ シリーズに改良を施し、本日より全国スバル特約店を通じ発売する。

今回の改良は、4代目レガシィの開発テーマである「走りと機能と美しさの融合」にそって、走行性、環境性、快適性の3つの要素をさらに高め、同社独自の水平対向エンジンによる SYMMETRICAL AWD (シンメトリカルAWD) をコアテクノロジーとするグランドツーリングカーとしての魅力に一層磨きをかけたものである。

エクステリアデザインは、レガシィならではの存在感と機能美をさらに洗練、インテリアデザインにも一部変更を加え、質感と機能性を向上させた。

また、運転者が車との積極的なコミュニケーションを通じ、自らの選択により用途に合わせて3つの異なる走行性能を愉しむことを可能とした新システム「SI-DRIVE (エスアイドライブ / Subaru Intelligent Drive)」を2.0ℓターボエンジン車、3.0ℓエンジン車に採用。走行性能や走りの質感を高めながら、排出ガスレベルや実用燃費などの環境性能を向上させた。



スバル レガシィ ツーリングワゴン「2.0GT」



スバル レガシィB4 「2.0GT」



スバル レガシィ アウトバック「3.0R」

【改良の主な内容】

1. エクステリア

4代目レガシイの特長である、機能と美しさを追求したエクステリアデザインを活かしながら、細部にまでこだわった意匠変更を施し、レガシイ独自の存在感をさらに高めた。

- ・フロントボンネットフードからヘッドランプカバー、フロントバンパーをなめらかにつなぎ、フロント面の一体感を創出。ヘッドランプのウインカーレンズ部には、上下に放射状に伸びるスリットを採用するとともに、内部のエスカッションのデザインを変更し、特にライト点灯時などの質感を向上。
- ・ヘッドランプ外側からサイドのフェンダーにかけて、伸びやかで勢いのあるキャラクターラインを連続させ、引き締まった精悍なフロントデザインを実現。
- ・フロントグリルは六角形の形状とし、レガシイシリーズのイメージを統一。車種、グレードにあわせ、航空機の翼をモチーフにしたグリルセンターの六連星から左右に力強く伸びるウイングスグリルを採用するタイプ、緻密で立体感のあるスポーティなハニカムタイプ、横基調をアクセントとした力強いルーバータイプの3タイプを設定。
- ・ツーリングワゴン、B4のフロントフォグランプを、マルチリフレクタータイプに変更し、照射面積を拡大するとともに、質感を向上。(ツーリングワゴン「2.0i Casual edition」を除く)
- ・リヤコンビランプは、クリアタイプのウインカーレンズを採用するとともに、テールランプ内部に円形の放射状に光る丸型のリフレクターを採用し、質感を向上。
- ・ツーリングワゴンとアウトバックは、左右のリヤコンビランプ、バックランプ、リヤフォグランプをメッキモールで繋ぎ、またB4はリヤコンビランプの天地寸法を短縮しコンビランプ下部にメッキモールを追加し、それぞれリヤデザインの広がり感、質感を強調。
- ・ドアミラーのデザインを変更し、運転席側の前方視界を向上するとともに、雨天時などの鏡面への水滴の付着を軽減。
- ・アルミホイールのデザインを変更。ツーリングワゴン、B4に装備される17インチホイールは6本スポークが描く伸びやかなデザイン、18インチホイールは10本のスポークが外周に向かって広がるシンプルでスポーティなデザイン、また、アウトバックに装備される17インチホイールは、独特のスポーク形状で力強さを表現したデザインをそれぞれ採用。
- ・ボディカラーには、新たに、「ダイヤモンドグレー・メタリック」、「ニューポートブルー・パール」、「サテンホワイト・パール」の3色を設定。

2. インテリア

加飾パネルなどにより、質感、機能性を高めながら、安心感のある室内空間を演出。また、「SI-DRIVE」搭載車には、専用のメーターパネルやステアリングスイッチなどを採用し、インターフェイスの機能性を重視したデザインを採用。

- ・ダッシュボードの中央部に、航空機の翼をモチーフにした金属調の加飾パネルを施し、広がり感、安心感のある空間を表現。
- ・オーディオパネルは、金属調の加飾パネルを引き立たせるブラック色に統一。
- ・メーターパネルは、文字盤の色をブラック色に変更したほか、スピードメーター、タコメーターの文字の意匠変更、および目盛りの細分化を施し、視認性を向上。
- ・「SI-DRIVE」搭載車のメーターパネルは、「SI-DRIVE」の機能などを表示する「マルチインフォメーションディスプレイ」

プレイ]や「ECOゲージ」、マニュアルトランスミッション車には「シフトアップインジケーター」などを装備する専用のエレクトロルミネセントメーターを採用。

- ・新デザインのステアリングホイールを採用。グリップの断面形状を変更するなど操作感を向上。また、一部グレードに標準装備となるオーディオリモートコントロールスイッチ、および一部グレードにメーカー装着オプションとなるクルーズコントロールのスイッチを、ステアリングホイールの左右スポーク部に集約し、一体感と操作性を向上。
- ・「SI-DRIVE」搭載車のステアリングホイールには、「マルチインフォメーションディスプレイセクター」、「SI-DRIVE S#スイッチ」を配置。また、AT(オートマチックトランスミッション)車には、マニュアルモード走行時の操作性を高めるパドルシフトを採用。
- ・センターコンソール周りの意匠を変更。AT車はATセレクトレバーのインジケーターを、MT(マニュアルトランスミッション)車はシフトブーツをそれぞれ囲むフレーム、カップホルダーを丸型リングのモチーフで連続させ統一感を向上。また、AT車のインジケーターには光沢のある表面処理を施すとともに、2.0Lターボエンジン車、3.0Lエンジン車のカップホルダーはリング部にライト点灯と連動したブルー色の照明を内蔵。
- ・運転席、助手席のシート座面の形状を最適化し、快適性と乗降性をともに向上。

3. パワーユニット

エンジンの燃焼効率、吸排気効率の向上のほか、トランスミッションの改良や6速マニュアルトランスミッションの拡大展開などにより、パワーユニット全体で走りの基本性能を高めた。また、2.0Lターボエンジン車、3.0Lエンジン車には、自らの選択により用途に合わせて3つの異なる走行性能を愉しむことを可能とした新システム「SI-DRIVE」を採用し、1台のクルマで優れた燃費性能と走行性能を実現。

<エンジン>

～2.0Lターボエンジン～

- ・デュアル AVCS(アクティブバルブコントロールシステム)のバルブ開閉タイミング、カムプロファイルの最適化により、吸排気効率を向上させ、走行性能と燃費性能を両立。
- ・燃焼室、排気ポートの形状変更やシリンダーヘッドの冷却性能向上などにより燃焼効率を高め、走行性能、燃費性能および排出ガス性能を向上。
- ・タンブルジェネレーテッドバルブ(TGV)を採用。バルブの開閉により低回転域の燃焼効率および高回転域の充填効率を向上させ、排出ガス性能、燃費性能を向上させながら出力を確保。
- ・エンジン冷態時に排気ポートに空気を送り込み、未燃焼の排気ガスを再燃焼させ触媒の早期活性化を図る2次エアシステムを採用し、排出ガス性能を向上。
- ・ターボチャージャーの形状を変更。コンプレッサー内の圧縮空気の流れを整流しエンジンの低中回転域のトルクを高め、出力性能、燃費性能を向上。
- ・「SI-DRIVE」の採用により、3つの出力特性を設定。
- ・平成17年基準排出ガス50%低減レベル(U-LEV)を達成。

～3.0Lエンジン～

- ・可変バルブリフトのカムプロファイルを変更。吸気バルブ、排気バルブのカム作動のタイミングを最適化し低中速回転域のトルクを向上させることで、燃費性能、排出ガス性能を向上。
- ・排気ポートおよびエキゾーストパイプの形状を変更。燃焼ガスの排気抵抗を低減し、触媒の早期活性化による排出ガス性能の向上と出力の確保を両立。
- ・「SI-DRIVE」の採用により、3つの出力特性を設定。
- ・平成17年基準排出ガス75%低減レベル(SU-LEV)を達成。

～2.50エンジン～

- ・ 可変バルブリフト機構「i-AVLS(i-Active Valve Lift System)」を採用。エンジンの低中回転域では片側の吸気バルブをローリフトとし、もう片側の吸気バルブとの位相によるスワール流が吸入空気の流速を高め充填効率、燃焼効率を向上させることで、排出ガス性能を向上。中高回転域では2本の吸気バルブを同時にハイリフトとし、吸気バルブ周辺の通気抵抗を低減させるとともに、吸排気慣性の効果により、シリンダー内への充填効率を向上させ、出力を向上。
- ・ エアインテークパイプ、および吸気チャンバーの形状変更により、吸気効率を向上。
- ・ 排気マニホールドを4-1集合式の等長等爆とすることにより、「i-AVLS」との相乗効果で、出力性能と排出ガス性能を向上。
- ・ 平成17年基準排出ガス75%低減レベル(SU-LEV)を達成。

<トランスミッション>

～オートマチックトランスミッション～

- ・ 全ATに、マニュアルモード走行でギヤを固定したまま加速する際、アクセルを踏み続けると自動的にシフトアップするオートアップシフト機構を採用。
- ・ 3.0ℓエンジン車の5速ATにダウンシフトブリッピングコントロール(回転同期制御)を採用。ECUとの協調制御により、シフトダウン後のエンジン回転数を予測し、予めエンジンの回転数を上げることで、マニュアルモードでのシフトダウンの変速をよりスムーズにしスポーティな走りにも対応。
- ・ 「SI-DRIVE」の採用に合わせ、ECUとの協調制御により、5速AT車の制御方式を最適化。

～マニュアルトランスミッション～

- ・ ツーリングワゴン、B4の「2.0GT spec.B」に専用のギヤレシオを持つ6速MTを採用。また、リヤデフは、容量を拡大するとともに、応答性に、より優れるトルセン式LSDを採用し、旋回性能を向上。
- ・ ツーリングワゴン、B4「2.0i」、「2.0R」の5速MTの1速と3速に、ダブルコーンシンクロナイザーを採用し、シフト操作力の低減と軽快なシフト操作感を実現。

4. ボディ/シャシー

運動性能に優れる SYMMETRICAL AWD の素性の良さを活かしながら、ボディ各部の補剛やサスペンションの改良などにより、レガシィの優れた操縦性、安定性をさらに向上させるとともに、グランドツーリングカーに相応しい上質な乗り心地を実現。

<ボディ>

- ・ メインフレームとフレーム上部の結合部分の大型化および板厚の拡大により、フロントサスペンション取り付け部の剛性を高め、主に操舵時のステアリング応答性と安定性を向上。
- ・ メインフレームとサイドシルの結合部分の大型化および板厚の拡大により、フロントフレーム支持部などの剛性を高め、主に直進安定性を向上。
- ・ フロントピラーの下端からサイドシルにかけて補剛材を追加。サスペンションの不要な動きを抑制し乗り心地を向上。
- ・ ツーリングワゴン、B4の「3.0R」および18インチタイヤ装着車に、フロントピラーとフレーム上部を繋ぐ補剛材を追加し、操縦安定性と乗り心地を向上。

<シャシー>

- ・ サブフレームのロワアーム取り付け位置を変更し、ロール特性を最適化。高速走行時などの直進安定性を向上。
- ・ アウトバックのフロントダンパーの内部構造を変更するとともに、フロント、リヤダンパーの減衰力およびスプリングの定数を最適化し、乗り心地を向上。
- ・ ツーリングワゴン、B4の「2.0i」、アウトバック全車のブレーキアシストに機械式踏込み速度感応型を採用。ブレーキペダルの踏み込み速度と踏込み量から必要な制動力を発生させ、特に緊急時のブレーキ操作を支援し安全性を向上。
- ・ ブレーキキャリパーの塗料を環境に優しい3価クロムを含有するシルバー色に変更。

5. 「SI-DRIVE」

2.0ℓターボエンジン車、3.0ℓエンジン車に新システム「SI-DRIVE」を採用。用途にあわせた3つのモード「Intelligent (I/インテリジェント)」、「Sport (S/スポーツ)」、「Sport Sharp (S#/スポーツシャープ)」を持ち、ECU、電子制御スロットルやAT車のTCUを緻密に複合的に協調制御し、各制御モードでそれぞれの特長に際立った走行性能を実現。運転者がモードを任意に切り替えることで1台の車で3つの異なる走行性能を愉しむことを可能とした。

また、運転者と車のコミュニケーションを促進するインターフェイスとして、制御モードの確実な切り替えを可能とする「SI-DRIVE セレクター」、運転者に燃費走行を意識させる「ECO ゲージ」、低燃費走行中であることを示す「インフォECO インジケーター」、SI-DRIVEの稼動状況を総合的に表示する「マルチインフォメーションディスプレイ」を設定、さらにマニュアルトランスミッション車には「シフトアップインジケーター」を装備。

運転者に燃費走行を意識させるディスプレイは、パワーユニットの制御や基本性能の向上との相乗効果で従来の同型車に比べ約10%の実用燃費向上(社内実測、「Intelligent」モード時)を達成している。

6. 仕様装備

<快適装備>

- ・ 2.0ℓターボエンジン車、3.0ℓエンジン車に、運転席側、助手席側で別々の温度設定を可能とした左右独立温度調整機構付フルオートエアコンを採用し快適性を向上。
- ・ 3.0ℓエンジン車にリヤベンチレーションを採用。また、メーカー装着オプションでセンターコンソール後部にリヤマルチファンクションパネルを設定。後席オーディオリモートコントロール、AUX端子、12V電源のほか後席リーディングランプ&スイッチなどを装備し、リヤシート同乗者の快適性、利便性を向上。
- ・ 運転席にメモリー機能付8ウェイパワーシートを採用。(2.0ℓターボエンジン車、3.0ℓエンジン車、およびアウトバック「2.5i」にメーカー装着オプションで設定の本革シートに共着)
- ・ 2.0ℓターボエンジン車、3.0ℓエンジン車のステアリングホイールに最大40mmの操作幅を持つテレスコピック機能を採用。(ツーリングワゴン、B4の「2.0i」、「2.0R」およびアウトバック「2.5i」にメーカー装着オプション)
- ・ 3.0ℓエンジン車のリヤアームレスト前端にカップホルダーを設置。

<オーディオ>

～LEGACY マッキントッシュサウンドシステム～

(ツーリングワゴン「2.0i Casual edition」を除く全車にメーカー装着オプション)

- ・ オーディオユニットの改良を施すとともに、パワーアンプ出力を1ch追加。
- ・ ダッシュボード上部に70mm口径のセンタースピーカーを採用。これによる音場の変更に合わせて、ドアウーファアの内部構造を最適化。
- ・ ボディ形状や内装の生地素材の仕様に応じて音響特性を設定できるFix-EQを追加。

～LEGACY プレミアムサウンドシステム～ (ツーリングワゴン「2.0i Casual edition」を除く)

- 音のこもりなどを解消し、全ての座席位置で心地よい音響空間を創り出す「SRS WOW」*を採用。
- “録音現場”を再現するチューニングを施すとともに、室内の音響特性に合わせ Fix-EQ の設定を変更。
- MP3/WMA CD 再生機能および MDLP 対応(グループ対応)機能を採用。
- オーディオユニットに 6 連奏 CD チェンジャーを搭載。

*WOW、SRS および(●)記号は SRS Labs, Inc.の商標です。

<その他装備>

- ツーリングワゴン、B4の「2.0i」、「2.0R」に「B-SPORT」、アウトバック「2.5i」に「S-style」を、それぞれメーカー装着オプションで設定。エレクトロルミネセントメーター、運転席パワーシート、テレスコピックステアリングなど、上級感とスポーツ性を高める装備をパッケージ。充実した装備でありながら、お求めやすい価格を設定。
- アウトバックのカーゴフロアに、リバーシブルタイプのフロアマットを採用。表側は質感の高いカーペットフロアとしながら、裏側はハードフロアを採用。また、ハードフロアの形状をトレイ状とすることで、使い勝手を向上。
- メーカー装着オプションのHDDナビゲーションに「ダブル画面表示機能」を追加。地図表示とDVDなどの映像ソースの同時視聴を実現。
- センターコンソールボックス内に携帯オーディオの音声を車両搭載スピーカーから出力できるAUX音声入力端子をディーラー装着オプションで設定。

【販売計画】

レガシィ シリーズ全体で 5,000 台/月

【メーカー希望小売価格＜消費税含む＞】()は消費税含まず

[単位:円]

車種			価格	ボディカラー	
B4	2.0i *4	5MT	2,089,500 (1,990,000)	アーバングレー・メタリック ダイヤモンドグレー・メタリック *3 サテンホワイト・パール *2*3 ブリリアントシルバー・メタリック オブシディアンブラック・パール ニューポートブルー・パール リーガルブルー・パール	
		スポーツシフト E-4AT	2,142,000 (2,040,000)		
	2.0R *4	5MT	2,362,500 (2,250,000)		
		スポーツシフト E-4AT	2,415,000 (2,300,000)		
	2.0GT	spec.B	5MT		2,908,500 (2,770,000)
			スポーツシフト E-5AT		2,982,000 (2,840,000)
		spec.B	6MT		3,139,500 (2,990,000)
			スポーツシフト E-5AT		3,139,500 (2,990,000)
	3.0R	spec.B	スポーツシフト E-5AT		3,034,500 (2,890,000)
			6MT		3,192,000 (3,040,000)
spec.B	スポーツシフト E-5AT	3,192,000 (3,040,000)			
	2.0CNG *1	スポーツシフト E-4AT	4,830,000 (4,600,000)		
ツーリングワゴン	2.0i *4	Casual edition *1	5MT	2,100,000 (2,000,000)	
			スポーツシフト E-4AT	2,152,500 (2,050,000)	
		spec.B	5MT	2,247,000 (2,140,000)	
			スポーツシフト E-4AT	2,299,500 (2,190,000)	
	2.0R *4	spec.B	5MT	2,520,000 (2,400,000)	
			スポーツシフト E-4AT	2,572,500 (2,450,000)	
	2.0GT	spec.B	5MT	3,066,000 (2,920,000)	
			スポーツシフト E-5AT	3,139,500 (2,990,000)	
		spec.B	6MT	3,297,000 (3,140,000)	
			スポーツシフト E-5AT	3,297,000 (3,140,000)	
	3.0R	spec.B	スポーツシフト E-5AT	3,192,000 (3,040,000)	
			6MT	3,349,500 (3,190,000)	
	spec.B	スポーツシフト E-5AT	3,349,500 (3,190,000)		
		アウトバック	2.5i *5	スポーツシフト E-4AT	2,688,000 (2,560,000)
3.0R	スポーツシフト E-5AT		3,192,000 (3,040,000)		
2.5i L.L.Bean EDITION	スポーツシフト E-4AT		2,940,000 (2,800,000)	ブリリアントシルバー・メタリック/アーバングレー・メタリック サテンホワイト・パール/アーバングレー・メタリック *2 オブシディアンブラック・パール/アーバングレー・メタリック	
3.0R L.L.Bean EDITION	スポーツシフト E-5AT		3,396,750 (3,235,000)	シャンパンゴールド・オパール/アーバングレー・メタリック ダークグリーン・マイカ/アーバングレー・メタリック	

全車とも SYMMETRICAL AWD で、ABS、デュアル SRS エアバッグを標準装備

E-4AT:電子制御 4速フルオートマチックトランスミッション E-5AT:電子制御 5速フルオートマチックトランスミッション スポーツシフトは、Prodrive. Ltd の登録商標

*1:受注生産車 *2:31,500 円高(消費税含む) *3:2.0i Casual edition を除く

*4:「B-SPORT」(メーカー装着オプション):ツーリングワゴンは 99,750 円高(消費税含む)、B4 は 105,000 円高(消費税含む)

*5:「S-style」(メーカー装着オプション):99,750 円高(消費税含む)

なお、商品についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、または SUBARU
お客様センター「SUBARU コール」0120-052215 までお願いいたします。